

44 オジロトウネン

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris temminckii

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパから東ヨーロッパ北部、シベリア北部などで繁殖し、繁殖後は西アフリカからアジア南部、中国南部、台湾などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。水田、川岸などの内陸の湿地などに生息し、甲殻類、貝類、昆虫類の幼虫などを採食する。



写真提供：加地啓子

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、甞島列島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、明石市、★西宮市、★伊丹市、豊岡市、加古川市、赤穂市、宝塚市、三木市、高砂市、加西市、★淡路市、加東市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

兵庫県では主に9-翌4月に記録がある。渡来は比較的稀で個体数も少ない。最大は1981年10月の稲美町加古大池での10羽で、多くは単独か数羽の群れである。県南部では冬期に水の抜かれたため池で記録されることが多い。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。